

令和7年度事業計画書

令和7年 9月 1日から

令和8年 8月 31日まで

1. 第74回学術総会の開催

会 期：2025年10月23日（木）～10月24日（金）

会 場：ソフトピアジャパンセンター・大垣市情報工房

学会長：JA 岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 西濃厚生病院 病院長 西脇伸二

テーマ：2040年に向けて地域医療のあり方を考える ―美濃からの発信―

（1）学会長講演

「病院再編、機能連携は地域医療を救えるか？～岐阜県厚生連の取り組み～」

岐阜・西濃医療センター西濃厚生病院 病院長 西脇伸二

（2）特別講演

①「世界と地域に通じる先端医療の実現に向けて-東海国立大学機構 岐阜大学のめざすもの-」

東海国立大学機構 岐阜大学 学長 吉田和弘

②「新しい地域医療構想の考え方」

福岡国際医療福祉大学ヘルスサービスリサーチセンター 教授 松田晋哉

③「地域に必要とされる病院を作る-県立病院と民間病院を再編統合し、新病院を運営してみて-」

兵庫県立はりま姫路総合医療センター 院長 木下芳一

（3）教育講演

「肝硬変のトータルマネジメント～栄養療法と運動療法～」

岐阜大学大学院 消化器内科学 教授 清水雅仁

（4）文化講演

「書き換えが進む関ヶ原の戦い」

静岡大学 名誉教授 小和田哲男

（5）金井賞受賞講演

「想いをひとつに」地域を元気に！

JAにしみの女性部 会長 渡辺かず子

（6）シンポジウム

①看護師特定行為～地域と繋がるための今とこれから～

②厚生連病院における病院再編、機能連携の現状と課題～今後の地域医療のありかたを考える～

（7）ワークショップ

「悩んでいませんか？ACP～様々なシーンを多職種で考える～」

（8）特別研究プロジェクト企画

①農薬中毒部会「農薬中毒調査・研究の歴史と今後の展望」

②農機具災害部会「『農作業安全教本』の解説と活用」

③農村の生活習慣病部会「農業・農村の特性に着目した介護予防の取り組み」

④地域医療・多職種協働部会「地域医療・多職種協働の実践に向けた基本概念の提案」

(9) 一般演題

(10) 臨床研修医セッション

(11) ランチョンセミナー

2. 令和7年度J A共済連委託研究事業の実施

(1) Reopenable-clip over the line method (ROLM)と吸収性局所止血材を用いた胃ESD後欠損閉鎖：前向きランダム化比較試験

主任研究者：鈴鹿中央総合病院消化器内科・内視鏡センター 医長 野村達磨

(2) 超音波下肢筋厚測定によるサルコペニアの簡易スクリーニング法の開発

主任研究者：あいち健康の森健康科学総合センター 健康開発部 部長 平川仁尚

(3) 農村地域における急性期脳卒中者の自動車運転能力評価と発症1年後の運転行動との関連性

主任研究者：長野松代総合病院リハビリテーション部 主任 小渕浩平

(4) 農村地域における野外作業とレジオネラ肺炎との関連性

主任研究者：岐阜・西濃医療センター西濃厚生病院検査科 検体管理部長 伊藤陽一郎

(5) 高齢者の多発肋骨骨折に対する high flow nasal cannula oxygen therapy の有効性を検証する多施設共同前向き観察研究

主任研究者：総合病院土浦協同病院救急集中治療科 常勤医師 星 博勝

(6) 腹腔鏡下子宮全摘術前のレルゴリクス投与についての検討

主任研究者：由利組合総合病院産婦人科 科長 設楽明宏

3. 特別研究プロジェクト事業の実施

「農薬中毒部会」、「農機具災害部会」、「農村の生活習慣病部会」において、データベースの充実など調査研究事業を引き続き実施する。「地域医療・多職種協働部会」においては、第2期の成果物となる「地域医療・多職種協働の実践に向けた基本概念の提案」を実際に地域の取り組みへ適用する場合の注意点、課題と対策案などを検討し、取り組み開始に参考となる基本骨格を策定する。

また、本学会の農機具災害部会と全国農業協同組合中央会(J A全中)が中心となって、平成22年5月に設立した「全国農作業事故防止対策連絡協議会」の活動に対して、引き続き協力・支援し、さらに、農機具災害部会が中心となって、農作業安全対策等において韓国との交流を促進する。

4. 機関誌の発行

機関誌「日本農村医学会雑誌」の内容の充実と年6回の定期発行に努めるとともに、国際農村医学会雑誌と統合した英文誌(Journal of Rural Medicine)は、年4回の定期発行(オンライン発行)に努める。

5. ホームページの充実

対外広報活動の一環として、ホームページの内容充実および利用促進を図る。

6. 地方会との連絡連携の強化

日本農村医学会地方会との連携および組織の拡充強化を図る。

7. 関係学会ならびに関係研究機関との交流

各種学会ならびに関係機関との交流を促進する。

8. 国際農村医学会との関わり

IARM 定款にもとづき、理事会の開催調整や学会誌機能を継続する。

9. 日本農村医学会賞の授与

本学会の研究において顕著な功績をあげた会員または本学会の発展に大きく貢献した会員に対し、日本農村医学会賞を授与する。

10. 日本農村医学会金井賞の授与

農村の保健・医療の向上に顕著な功績をあげた個人または団体に対し、金井賞を授与する。

11. 日本農村医学会研究奨励賞の授与

「日本農村医学会雑誌」および英文誌(Journal of Rural Medicine)に掲載した優秀な研究論文に対し、研究奨励賞を授与する。

12. 日本農業新聞賞にかかる候補者(団体)の推薦

農村の保健・医療・福祉の向上に寄与する研究・活動を行った個人または団体を、日本農業新聞賞の候補として(株)日本農業新聞へ推薦する。

13. JA 全厚連会長賞にかかる候補者の推薦

地域医療に貢献した厚生連所属の医師を、JA 全厚連会長賞の候補として全国厚生農業協同組合連合会へ推薦する。

14. 農村医学に関する統計・資料の収集

農薬中毒、農機具災害および農村の生活習慣病に関する情報の収集・提供に努める。